



水道橋畔発

第38号 令和5年12月

Content

水道橋病院副院長より

臨床研修担当副院長の立場から

東京歯科大学水道橋病院副院長 古澤 成博

口腔外科（外科学・病態学）
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科
薬局から

1p

2p

3p

4p

5p

6p



水道橋病院副院長より

臨床研修担当副院長の立場から

東京歯科大学水道橋病院副院長 古澤 成博

今年は立冬でありながら季節外れの夏日となり、半袖でも過ごせる陽気です。今年の夏日は143日目だそうです。1年のうち夏日が4割を占めるのは、さすがに尋常ではありません。最近地球の温暖化の影響で、完全に季節の感覚がおかしくなっているのが分かります。このまま環境を破壊し続けると人類の将来どうなるのでしょうか？戦争などしている場合ではないのに、愚かな人達には分からないようです。恐らく今後も異常気象による災害が増え続けることと思います。どうか皆様も、日頃の備えを怠らないようにして頂きたいと思います。

さて、早いもので今年もあとわずかとなりました。来年度の予定もそろそろ出てきております。当病院の臨床研修歯科医も、来年度のマッチング結果が発表されました。来年度は66名がマッチしております。今後国家試験の結果発表を待って新年度直前に最終的なメンバーが確定される予定です。当病院では臨床研修歯科医の人数が多くなった時から、4つのプログラムで運用しておりますが、4月から協力型施設での研修が始まるプログラムもあり、協力型施設の先生方には多大なご迷惑をおかけすることもあるかと存じます。我々が学生だった頃は、学生が医局員の指導の下で患者様の治療するのは当たり前前の時代でしたが、今やスチューデントデンティストなる名称を与え、患者様の同意を書面で得て、行う処置も限定してやっと診療が可能となります。従いまして、ほとんどの学生はあまり手が動かない状態で、臨床研修歯科医として世に出ることになります。現状やむを得ない状況ですので、寛大なる心で接して頂き、ご指導頂けると助かります。今の

臨床研修歯科医は、学生時代からコミュニケーション学を学び、試験ではOSCEなどが採り入れられているためか、患者様に対する応対は、指導医の方が指導を受けたほうが良いのではないかとと思われるくらい、上手にできる者も多いようです。その分、技術的に未熟なところのギャップに苦しんでいます。嘗ては積極的な臨床研修歯科医は夜遅くまで残り、マネキンを使って自学自習して指導医による指導を受けウデを磨いておりましたが、現在では労働契約上それもままならない状況です。所詮、研修期間が1年では限られた範囲しか身に付けることはできませんが、生涯研修の糸口になれば幸いと思っています。お陰様で水道橋病院は患者様の来院数も多く、臨床研修に相応しい症例も数多く遭遇します。現在、新患の予診当番には毎日交代で臨床研修歯科医があたり、処置可能な症例は指導医の指示の下で各自が診療を進めておりますので、初診時には臨床研修歯科医が対応いたしますこと、ご了承ください。因みに、私が臨床研修歯科医の指導に直接携わるようになって20年以上が経過します。その間、多くの臨床研修歯科医を一人前の歯科医師として世に送り出すお手伝いをさせて頂きましたが、結局地域の協力型の先生方などのご助力無しには育て上げることは困難です。今後ともどうか若い先生方へのご支援ご助力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

結びに私事でございますが、次の3月末で定年となりますので、この立場でのご挨拶は今回が最後になります。今まで皆様方から数々のご協力を賜り、誠に有難うございました。この場をお借りして、心より御礼を申し上げます。



口腔外科 (外科学・病態学)

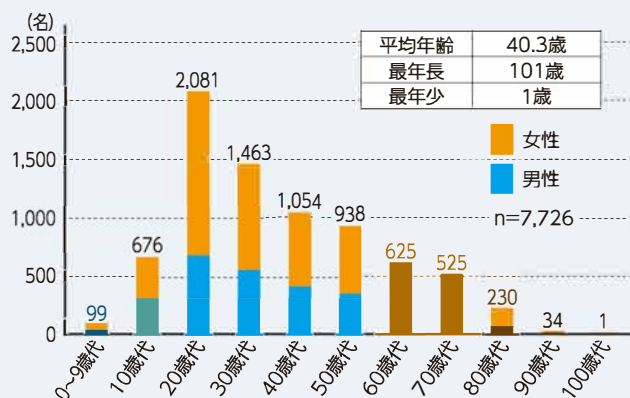


【口腔外科】

平素より口腔外科へ患者様をご紹介いただき、誠にありがとうございます。

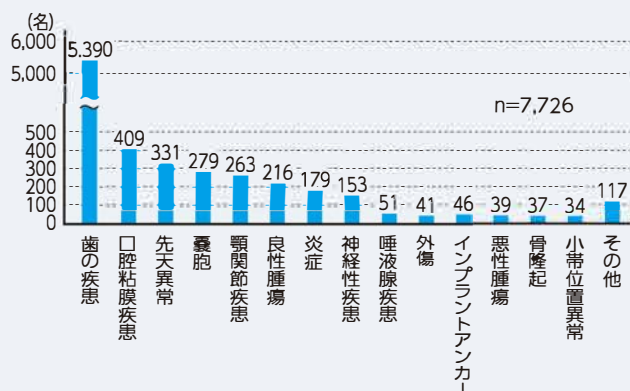
当科は日本口腔外科学会の指導医6名、専門医4名を筆頭に計31名の医局員が診療を担当しております。2022年度の初診患者数は7,726名でした。そのうち、ご紹介いただきました患者様は6,505名と多くの患者様をご紹介いただきました。初診受付日は平日の月曜日から土曜日の9時から11時までとなっております。また土曜日は原則観血処置は行っておりません。年齢別では各年代で受診されており、特に20～30歳代での受診が多い傾向にあります(図1)。疾患別では埋伏歯

【図1】当科受診患者 年齢別



などの抜歯、嚢胞、口腔粘膜疾患、顎関節疾患、神経疾患、唇顎口蓋裂、悪性腫瘍と口腔外科全般に渡り診療をしています(図2)。当科では各疾患に対して専門分野の専門医を持つ医局員が症例に応じて対応と診療の指導に

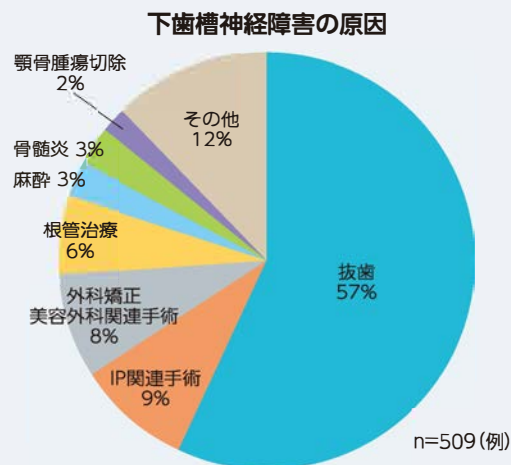
【図2】受診疾患



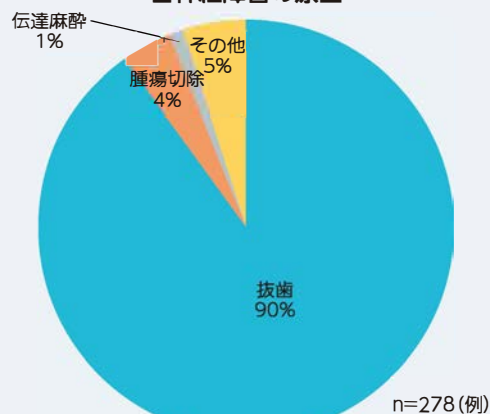
あたっております。特に末梢神経障害に対しては専門外来である急性期神経機能外来を開設しています。初診の

一部予約制の導入により患者様の受診と診察を円滑に進めております。初診の方は初診当日には医療面接や画像検査等による診断と説明を行い、原則として処置は医療安全の面からも再診時に行うようにしております。また紹介医の患者様からも指摘いただきました電話予約についても同様に増設し改善に努めております。

【図3】末梢性三叉神経障害の原因



舌神経障害の原因



【急性期神経機能修復外来】

末梢性三叉神経障害(下歯槽神経、舌神経)を対象に第4週金曜に急性期神経機能修復外来を行っています。主に歯科治療(抜歯、嚢胞摘出、腫瘍切除、インプラント、歯内療法等)に発症した神経障害を対象にしています(図3)。2022年度では全国各地から受診されることも多くなり161名の患者様が受診されました。臨床的な経過を追いつながり検査を進めて初診から2か月から3か月

【図4】 本学における神経障害の診断の流れ

- ①主観的検査:精密触覚機能検査
 ②客観的検査(機能検査):知覚神経活動電位導出法(SNAP)
 ③客観的検査(形態検査):エックス線検査、CT、MRI

※当院受診時より保存療法を開始

保存療法
 薬物療法→プレドニゾロン、メコパラミン
 星神経節ブロック
 理学療法→遠赤外線レーザー、温電法、鍼灸



2〜3か月で診断 ※精密触覚機能検査+SNAPを2,3回施行

の時点で神経修復手術等の適応を診断します。初診では、診断のための検査（画像検査、精密触覚機能検査、知覚神経活動電位導出法等）、医療面接を慎重に行いますので1時間程度を要します（図4、5）。そのため受診予約に関しては完全予約制にしております。またご紹介頂く際は、障害発生から早期の受診が望まれますので発症を認めた時には当外来へご連絡頂ければ幸いです（03-5275-1725）。当外来の診療室は口腔外科外来での診察になりますが、必要に応じて当院ペインクリニック科と併診、合同カンファレンスを行い現在の症状に併せて最適な治療計画を選択、決定しております。診断の結果、重篤な神経障害症例では、患者様と相談した上で外科療法（神経修復術）を選択しております（図6）。

【入院手術症例について】

当院では、20床（4人部屋3室12床、2人部屋2室4床、個室2室2床、回復室1室2床）を有しており当科での2022年度の手術症例は652例でございました。手術室は2室で月曜日から金曜日の平日を手術日として

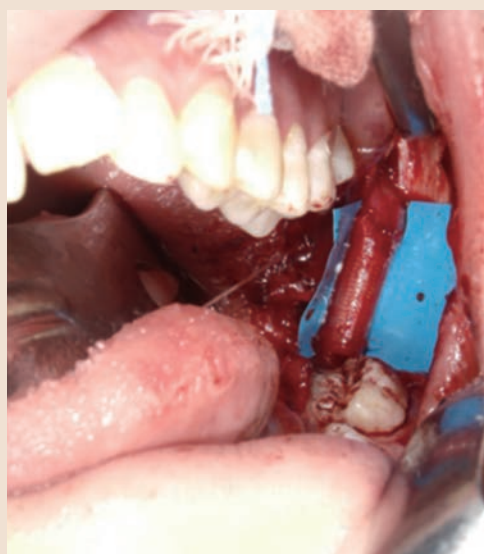
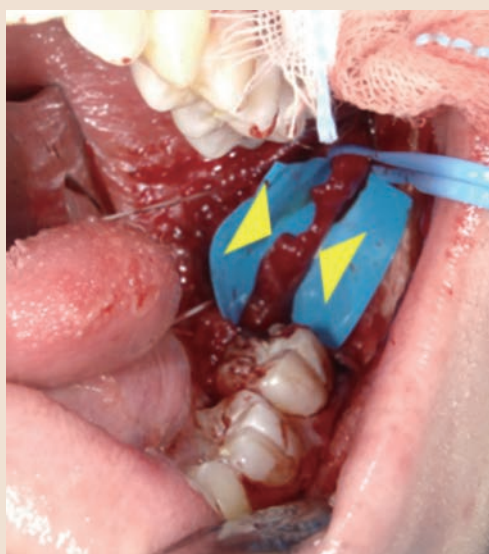
おります。入院手術前には医局内での症例検討会を必ず各症例に対して行い提示された手術術式から入院管理までを医局全体で再確認しています。主な入院手術症例では顎矯正関連手術（上下顎骨形成術、下顎骨形成術、オトガイ形成術）296例でした。また顎矯正手術の入院期間はパス化されており、上下顎骨形成術で11日間、下顎骨形成術で9日間、オトガイ形成術では7日間の入院となります。その他の疾患では良・悪性腫瘍、顎骨嚢胞、埋伏歯等の抜歯、末梢性神経損傷、唇顎口蓋裂等の手術であり、入院期間は各疾患の病態に応じて決定しております。入院をされる患者様へは主担当以外に2名または3名の当科医局員が担当医と

なりチーム体制で入院中の患者様をサポートしています。また必要に応じて、入院加療中より当院の他科診療科の先生方の協力をいただき歯牙の欠損、口腔がん等の手術療法で失われる機能の回復、またはリハビリを通してシームレスな一口腔単位での診療を行うよう心がけています。当科では引き続き患者様に快適かつ安全、安心の入院管理を提供して参ります。



【図5】 神経外来での知覚神経活動電位導出法の検査

【図6】 舌神経修復術症例。左側舌神経と損傷部(黄)を神経再生誘導チューブで再建





スペシャルニーズ歯科・ ペインクリニック科

平素よりスペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科の患者様をご紹介下さり、誠にありがとうございます。多くのご紹介によりスペシャルニーズ歯科は年間延べ約 3000 例、ペインクリニック科は延べ約 8500 例と多数の患者様に通院して頂いております。2023 年 10 月の時点で、初診は 1 ヶ月ほど、治療開始は初診から 1～2 ヶ月ほどお時間を頂いております。静脈内鎮静法が必要な患者様は初診から 3 ヶ月ほど治療開始までお時間を頂いております。安全な治療のため完全予約制とさせて頂いております。治療開始までお待ちせしてしまいますが、ご協力のほどお願いします。神経障害や著しく強い痛みなど時間に余裕が無い場合は可能な限り対応しております。その際は直接電話で相談していただけますと幸いです。今後とも当科を宜しくお願い致します。

【所属歯科医師】

医局員は日本障害者歯科学会、日本口腔顔面痛学会、日本歯科麻酔学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本小児歯科学会といった専門学会に所属しております。カンファレンスや勉強会を積極的に行い、若手の育成にも力を入れております。また臨床研究も盛んに行っております。

【治療の特徴と流れ】

当科は全身管理、行動調整が必要なスペシャルニーズをお持ちの患者様や治療困難な痛みの治療に取り組んでおります。

【スペシャルニーズ歯科】

歯科治療が困難な方に安全で快適な歯科医療を提供しております。対象疾患は知的能力障害や自閉スペクトラム症、神経運動疾患、聴覚や視覚などの感覚障害、内科的疾患、各種症候群の方の治療を行っております。行動療法や薬物的な行動調整（静脈内鎮静法や全身麻酔）を駆使して安心安全な治療を心がけています。また、通法下の歯科治療を受けることを目標にトレーニングもしております。また、歯科恐怖症や嘔吐反射、障害児歯科の治療も他科と協力して行っております。

【ペインクリニック科】

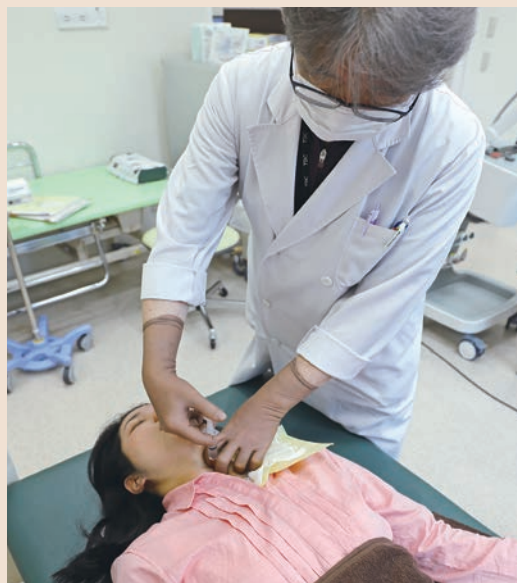
歯原性疼痛はもちろんのこと、原因不明の歯の痛みや顔面の痛み、舌、口腔粘膜痛の方を主に診察しております。痛みで苦しんでいる患者様に対して迅速な除痛を図り、患者様の QOL の回復または向上を目指しております。生活指導をはじめとして、鍼や近赤外線照射、オーラルアプライアンス、トリガーポイント注射などの理学療法（図 1）、星状神経節ブロックなどの神経ブロック（図 2）、経口または静脈内投与による薬物療法を行なっ

ております。噛み合わせや、歯科治療に問題がないことを前提に治療を開始しますが、歯が原因の痛みの場合は歯科治療をご紹介頂いた先生に依頼させて頂くこともございます。その際は何卒ご協力のほどお願いいたします。

痛み以外には痺れ、神経障害の治療を口腔外科と協力しながら神経修復外来という名称で治療しております。当科では、精密な感覚検査や神経 MRI で精査した上で薬物療法や近赤外線照射、レーザー照射、星状神経節ブロックを行っております。



【図1】筋筋膜性歯痛に対するトリガーポイント注射



【図2】痛みや神経障害に対する星状神経節ブロック

病院長 副病院長 副病院長 副病院長	山下 秀一郎 鳥山 佳則 古澤 成博 新谷 誠康	令和5年11月1日現在	
		東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医ご案内(レギュラースタッフ)	

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	部長・教授	古澤 成博	歯内療法学
	客員准教授	河野 誠之	
	講師	(山田 雅司)	
		佐古 亮	
	助教	田宮 資己	
		鈴木 穂香	
	レジデント	北島 彩花	歯周病学
		高橋 玲子	
		江澤 奈穂	
		古澤 誉彰	
	教授	齋藤 淳典	
	講師	勢島 健太郎	
	医局長・講師	今村 慶子	保存修復学
	助教	山下 友里恵	
		北村 佳美	
	レジデント	齋藤 麻友里	
		安藤 怜音	
		原田 真理	
補綴科		岡本 静香	老年歯科補綴学
		小久保 楓香	
	教授	村松 敬	
	准教授	杉博 記	
	講師	春山 亜貴子	
		石半 秀典	
	助教	石塚 久子	クラウンブリッジ補綴学
		中野 岳志	
	レジデント	宮吉 美仁	
	教授	野村 知史	
	教授	上田 貴之	
	准教授	竜 正大	
	講師	高野 智史	パーシャルデンチャー補綴学
		太田 緑壮	
	助教	齋藤 晃裕	
		石田 和真	
	教授	中澤 秀志	
	名誉教授	佐藤 亨	口腔顎顔面外科学
	准教授	野本 俊太郎	
	講師	四ツ谷 護	
		酒井 貴徳	
	助教	露木 悠太	
		黒田 瑞穂	
口腔外科	レジデント	岡野 文佳	口腔病態外科学
		河津 里香	
		佐藤 真紀	
		荒井 春乃	
	部長・教授	山下 秀一郎	
	医局長・准教授	田坂 彰規	口腔顎顔面外科学
	客員准教授	堀 宏巳	
	講師	大平 真理子	
	助教	加藤 芳実	
		鎌田 聡仁	
		岡野 日奈	口腔病態外科学
		小林 裕太	
	レジデント	伴野 彩音	
		池田 尚志	
		藤村 領杜	
	客員教授	高野 正彦	口腔病態外科学
	医局長・准教授	柴原 孝彦	
	講師	高木 多加志	
		渡邊 章	
		(吉田 秀児)	
	助教	大野 啓介	口腔病態外科学
		加藤 宏晴	
		林 宰央	
	レジデント	小原 身知子	
		小坂 悠樹	
		村松 賢太郎	
	部長・教授	片倉 朗	口腔病態外科学
	病院教授	笠原 清弘	
	准教授	菅原 圭亮	
	講師	西山 明宏	
	助教	星野 照秀	
		小山 侑	
	レジデント	小谷地 雅秀	口腔病態外科学
		二階堂 純彦	
		小川内 香帆	
		中西 将大	
		秀島 樹	

診療科名	職名	氏名	講座名
歯科麻酔科	部長・准教授	(小 鹿 恭太郎)	歯科麻酔学
	部長代理・講師	半田 俊之	
	医局長・講師	古田 香織	
	助教	手島 麻子	
		齋藤 菜月	
	レジデント	津谷 瑠理	
矯正歯科	部長・教授	西井 康二	歯科矯正学
	客員教授	末石 研二	
	短大教授	片田 英憲	
	准教授	石井 武展	
	医局長・講師	立木 千恵	
	講師	有泉 大	
	助教	西村 達郎	
		戸村 拓真	
		市川 江里佳	
	レジデント	林 優希	
		原崎 ひとみ	
		大澤 雄一郎	
小児歯科	部長・教授	新谷 誠康	小児歯科学
	講師	辻野 啓一郎	
	医局長・講師	櫻井 敦朗	
	講師	本間 宏実	
	助教	棚瀬 稔貴	
	レジデント	濱口 翔一	
口腔インプラント科	部長・教授	田中 康裕	口腔インプラント学
	医局長・講師	佐々木 穂高	
	助教	平野 友基	
		小田 由香里	
		浅見 洋佑	
	レジデント	飯島 典子	
スペシャルニーズ歯科・ ペインクリニック科	科長・教授	角田 航	口腔健康科学
	病院教授	原田 惇朗	
	医局長・講師	重松 正樹	
	助教	頼岡 廣明	
		鈴木 航	
	レジデント	小西 李奈	
健康スポーツ歯科	科長・教授	福田 謙一	口腔健康科学
	准教授	大多和 由美	
	医局長・講師	野口 智康	
	助教	加藤 栄助	
		添田 萌	
	レジデント	野末 雅子	
摂食嚥下 リハビリテーション科	科長・教授	廣瀬 詩季子	口腔健康科学
	准教授	中島 一憲	
	医局長・講師	阪上 隆洋	
	助教	筒井 新	
		都合 晋司	
	レジデント	石田 瞭	
放射線科	科長・教授	大久保 真衣	歯科放射線学
	准教授	野口 智康	
	医局長・講師	芳村 電秀	
	助教	後藤 多津子	
	客員教授	岡野 友宏	
	医局長・講師	音成 美佳	
臨床検査科	講師	(小 高 研人)	病理学
	助教	佐藤 仁美	
		松元 秀樹	
		和田 大岳	
	部長・教授	橋本 貞充	
	客員教授	國分 克寿	
内科	准教授	中島 啓彦	病理学
	講師	明石 良彦	
	助教	山岸 由幸	
	科長・准教授	仁科 牧子	
	准教授	山岸 由幸	
	助教	仁科 牧子	
眼科	科長・特任教授	ビッセン 弘子	眼科
	医局長・講師	太田 友香	
	助教	上原 朋子	

()長期出張中



薬局から

一体、薬局は何処に有るのだろうと思われる方も多いと思います。実は1階医事課の裏側にひっそりと有ります。

仕事内容は入院患者さんのお薬を調剤するのは勿論ですが、外来においては院外処方箋のチェックを行っています。カルテを見ていて思うのは、意外とアレルギーや服薬中の薬についての記載が少ない事。薬を処方する際には是非お薬手帳等で服用中の薬を確認して下さい。

抗凝固剤は治療時に影響する可能性も有りますし、抗生剤によっては相性が良くない場合も有ります。

高脂血症の薬、睡眠薬とひとまとめにしては何ですが、やはり抗生物質との相性が良くない場合が有ります。例えば上顎洞炎にクラリスロマイシンを処方した場合、添付文書の併用注意の項目には、向精神薬や睡眠薬、抗凝固剤、高脂血症薬等が上がっており飲み併せについてかなりの注意が必要です。併用注意なので絶対避けなくてはなりません、副作用としてどのような可能性が有るかは確認しています。ですので、処方される歯科医師の先生方にもその辺はご注意いただくと助かります。

最近世間でも噂になっている薬の品薄。経験された先生も多いと思います。当院では処方内容の問い合わせは各科へお願いしていますが、口腔外科に電話が繋がらないのでと薬局に回って来ました。「サワシリンが処方されていますが在庫が近隣の薬局も含めて在りません。ほかの物に変更して頂けますか？」代替品は何が有るのか確認すると真っ先に「レボフロキサシンと」と言われて、「いきなりニューキノロンですか？」と言ってしまい

ました。最近、歯科での第一選択であるアモキシシリンが品薄の為、慣れない薬局だと無謀な事を言って来る可能性が有りますので、ご注意下さい。アモキシシリンを変更するなら、ペニシリン系かセフェム系で変更して下さい。今回の問い合わせはセフェム系で変更出来る薬が先方の在庫に有りましたので、それに無事変更しました。

薬の話ばかりですが、アセトアミノフェンの添付文書の内容が変わりました。禁忌項目が減り、アスピリン喘息の既往の患者さんにも300mgまでなら注意しながらの投与が可能になりました。勿論、万が一の事を考え対応は出来るようにとの前提付きではありますが。病名の適応も色々な制限が無くなり実際の診療での使用感覚に近付いていくのではとの期待が持てる変更です。

この様に余り目立ちませんが、日々、地道に戦っている薬局です。何か御座いましたらお問い合わせください。



東京歯科大学 水道橋病院

住 所	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
電話番号	03-3262-3421 (代表)
ホームページ	https://www.tdc.ac.jp/sh/



東京歯科大学水道橋病院

検 索

編集後記

今年を振り返りまして、「モノの相場感」が大幅に塗り替えられた一年だと感じています。以前はドル表示の価格を見ますと、100倍したら日本円換算のイメージでしたが現状その1.5倍程度になっています。街中では自動販売機のペットボトル飲料の価格が見慣れない価格設定になっております。

水道橋病院の自費料金につきましても、この1,2年で少しずつ改定致しました。患者さまには丁寧に説明申し上げ、ご理解を頂きながら継続治療をさせて頂いております。

上記の事象は一括りで片付くものではありませんが、直近の懐事情にはインパクトのある事ばかりです。10年後、30年後から振り返って好影響やそのきっかけとなっているよう願うばかりです。

(野本 俊太郎 記)